

授業科目の区分等：教職科目 教職に関する科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
櫻井 清人			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	高等学校商業科教員免許取得のためには本講義の履修が必要となる。基礎的な学習理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。商業科教員として教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、身に付ける。
授業計画	<p>第1回 教育課程の編成と年間指導計画の作成 予習 (時間) : ・教科書P.125~P.132を読む。(120) 復習 (時間) : ・教科書P.132の課題を調べる。(120)</p> <p>第2回 学習指導の諸形態とその方法 予習 (時間) : ・教科書P.133~P.139を読む。(120) 復習 (時間) : ・学習内容をまとめる。(120)</p> <p>第3回 評価の観点と評価規準 予習 (時間) : ・教科書P.140~P.147を読む。(120) 復習 (時間) : ・教科書P.146の課題を調べる。(120)</p> <p>第4回 学習指導案の作成 (1) 基礎的科目「ビジネス基礎」 予習 (時間) : ・「ビジネス基礎」の学習指導案を作成する。(120) 復習 (時間) : ・学習指導案を完成させる。(120)</p> <p>第5回 模擬授業と授業研究 (1) 基礎的科目「ビジネス基礎」 予習 (時間) : ・「ビジネス基礎」の模擬授業の準備をする。(120) 復習 (時間) : ・授業研究で指摘されたことを改善策としてまとめる。(120)</p> <p>第6回 学習指導案の作成 (2) マーケティング分野「マーケティング」 予習 (時間) : ・「マーケティング」の学習指導案を作成する。(120) 復習 (時間) : ・学習指導案を完成させる。(120)</p> <p>第7回 模擬授業と授業研究 (2) マーケティング分野「マーケティング」 予習 (時間) : ・「マーケティング」の模擬授業の準備をする。(120) 復習 (時間) : ・授業研究で指摘されたことを改善策としてまとめる。(120)</p> <p>第8回 学習指導案の作成 (3) 会計分野「簿記」 予習 (時間) : ・「簿記」の学習指導案を作成する。(120) 復習 (時間) : ・学習指導案を完成させる。(120)</p> <p>第9回 模擬授業と授業研究 (3) 会計分野「簿記」 予習 (時間) : ・「簿記」の模擬授業の準備をする。(120) 復習 (時間) : ・授業研究で指摘されたことを改善策としてまとめる。(120)</p> <p>第10回 学習指導案の作成 (4) ビジネス情報分野「情報処理」 予習 (時間) : ・「情報処理」の学習指導案を作成する。(120) 復習 (時間) : ・学習指導案を完成させる。(120)</p> <p>第11回 模擬授業と授業研究 (4) ビジネス情報分野「情報処理」 予習 (時間) : ・「情報処理」の模擬授業の準備をする。(120) 復習 (時間) : ・授業研究で指摘されたことを改善策としてまとめる。(120)</p> <p>第12回 商業教育とキャリア教育・進路指導 予習 (時間) : ・教科書P.159~P.163を読む。(120) 復習 (時間) : ・教科書P.163の課題を調べる。(120)</p> <p>第13回 商業教育と特別活動・生徒指導 予習 (時間) : ・教科書P.148~P.158を読む。(120) 復習 (時間) : ・教科書P.163の課題を調べる。(120)</p> <p>第14回 商業科教員としての資質・能力 予習 (時間) : ・教科書P.164~P.173を読む。(120) 復習 (時間) : ・教科書P.173の課題を調べる。(120)</p> <p>第15回 新学習指導要領と商業教育の課題・展望 予習 (時間) : ・教科書P.174~P.181を読む。(120) 復習 (時間) : ・教科書P.181の課題を調べる。(120)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	①教科 (商業) の専門知識と指導力を身に付ける商業科教員としての資質・能力。 ②広く深い教養や生徒理解、地域社会や学校組織のなかで主体的に取り組む姿勢。
到達目標	①生徒の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 ②教科「商業」の学習評価の考え方を理解している。 ③教科「商業」の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 ④学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 ⑤模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 ⑥教科「商業」における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。 ⑦商業教育を指導する教員としてふさわしい資質・能力を身に付けている。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正点・注意点などを赤字で記入の上、返却する。

履修上の注意	基本的には、講義形式を中心とするが、学生による調査・研究の報告、模擬授業なども取り入れていく。毎回内容を積み重ねていく講義なので、欠席をしないようにすること。また、商業科教育法Ⅰの単位修得者のみ商業科教育法Ⅱを履修することができる。
成績評価の方法・基準	①定期試験50% ②レポート課題20% ③模擬授業20% ④学修意欲10%
教科書	『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』 著者名：日本商業教育学会編著 出版社：実教出版株式会社 発行年：2016年 価格：2,200円（税別）／高等学校学習指導要領（平成30年度告示）解説商業編 著者名：文部科学省 出版社：実教出版株式会社 発行年：2019年 価格：744円（税別）
参考書・教材	【参考書】『商業科教育論 21世紀の商業教育を創造する』 著者名：日本商業教育学会編著 出版社：実教出版株式会社 発行年：2019年10月 価格：2,400円（税別）
備考	
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）